

志望動機のための企業研究

～これなら書ける志望動機～

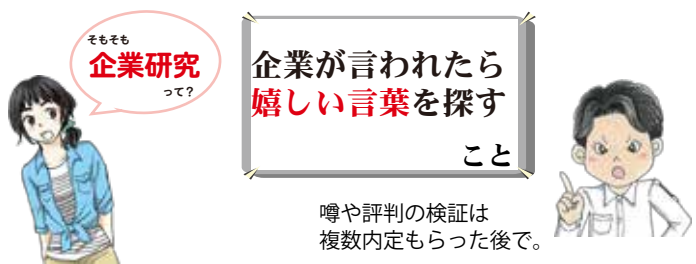
■あるある企業研究

噂の底なし沼にはまらないように。



■そもそも企業研究とは

時間をかけずに効率よく志望動機をつくるのが目的。



■志望動機のための企業研究の4つのコツ

①コピー＆ペーストしながら企業研究

「企業が言われたら嬉しい言葉」とを見つけてコピー。企業名でファイルを作ってペースト。これを繰り返して、どんどん集めます。集めた中から、志望動機に使えるものを選んだり、面接前に、ざっと眺めて復習したり、します。

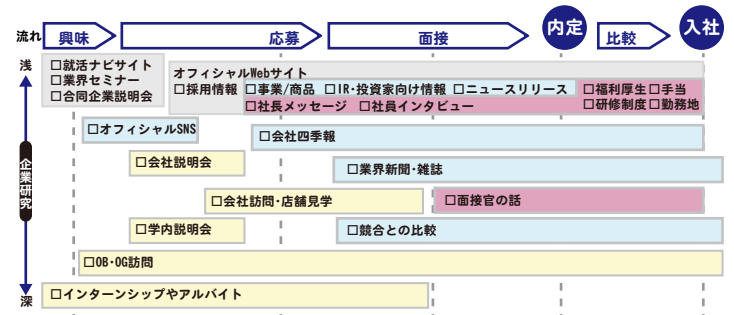
ボーっと見るだけでは企業研究にならない



②新卒採用ページ以外で企業研究

企業に興味を持つ、応募する、面接を受ける、内定、複数の内定先を比較して、入社を決める、と段階が進むにつれて、企業研究は深まっていきます。

他の学生より「優位性」のある情報を「体系的」に持つ。



③企業語を学びながら企業研究

企業語とは、その企業では常識となっている言葉や表現・表記のこと。企業語を学び、それを書いたり話したりすることが、志望意欲の高さを表すことになります。



企業語を学び操ることが志望意欲の高さを表す。

正確な会社名

(例) よく見ると大文字

・キャノン
・キュービー
・富士フイルム

(例) 通称と違う

・ホンダ→本田技研工業
・ミスノ→美津濃

大好きな単語

(例) ニトリ 世のため人のために抱く夢や大志のことを「ロマン」と呼び...社員はそれぞれが抱くロマンに向かって仕事に...

こだわりの表記

(例) meiji

おかし・アイス
- チョコレート
- グミ・キャンデー・ガム
- スナック (西日本限定)・ビスケット
- キッズ・キャラクター
- アイス
- フロズンデザート

MORINAGA

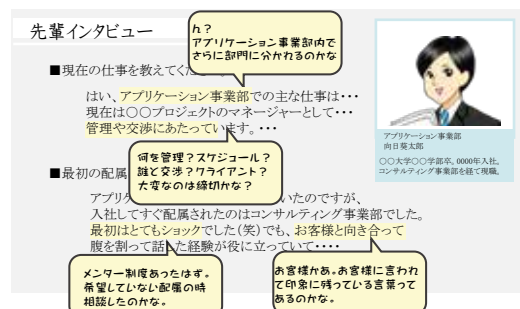
菓子
- チョコレート
- ビスケット
- スナック
- キャラメル
- キャンディ

④質問を考えながら企業研究

例えば、先輩インタビューの記事を読む時には、予想したり、想像したり、自分ならどうだろうと考えます。企業研究しながら質問を考えるのです。



どういふこと? 具体的に? 自分だったら? と想像しながら「ゆっくり読む」と質問が出てくるはず。



あらさがし企業研究ではなく、入社意欲UPの企業研究をしよう